

第20 重点事業概要

● 湖南圏域医療福祉ビジョンの推進

令和5年度 南部健康福祉事務所

制度や分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、高齢者だけでなく、地域の住民一人ひとりが生涯にわたり健康づくりを土台にして、病氣や介護が必要となった時の事を心配せずに心豊かに安心して暮らせる地域を目指す。

番号	目標項目	目標設定の理由	達成状況（実績）	達成度	成果と課題	基本計画実施 計画 関連機関	担当 係
1	健康危機管理体制の整備	保健所は地域の健康危機管理拠点であり、新興感染症、再興感染症、災害等の健康危機事案発生時に備え、平時から地域の健康危機管理体制整備に努める必要があるため、令和4年度から健康危機管理係が創設され、保健所内の健康危機管理体制の組織強化が図られた。平時から食中毒予防や感染症予防に対する県民意識を向上させるとともに、関係機関と連携した健康危機に強い地域組織体制の整備および人材育成を進めることで、健康危機事案発生時には、的確に対応し、安全安心な社会の実現を目指していることから本目標を設定する。	○県健康危機管理課・各保健所参画のプロジェクトチームによる検討を行い、「健康危機対処計画【感染症編】」「パンデミック発生時対応業務マニュアル へコロナ禍での対応を踏まえて～」を作成 ①南部地域感染症予防対策連絡会の開催 1回 ②認定感染制御リーダー研修会の開催 2回（のべ6回） ③-1災害医療体制検討委員会の開催 1回 ③-2保健医療福祉調整南部地方本部運営訓練の開催 1回 ④小児救急医療体制：行政担当者情報交換会の開催 2回 医師連絡会議の開催 2回 ⑤保健衛生講座開催(食中毒・感染症予防) ・年25回（のべ回数） ・受講者823人（のべ人数）	○	・医療機関の感染対策は、ICNの専門性とネットワークを活用し、院内感染管理水準の維持と向上を図るとともに、地域での感染対策は、高齢者や障害者の入所施設の職員を対象とした草津保健所認定感染制御リーダー育成事業を実施した。今後は、新たなパンデミック等に備え感染対策ネットワークを強化するとともに、感染制御リーダーについては、ICNと連携してフォローアップ研修等の実施を通して、地域の感染対策向上につなげて持続可能な地域の感染管理体制の構築が重要である。 ・災害について管内市にヒアリングを実施したことで、各市の現状や課題等を確認することができ、次年度以降の体制の維持および強化のためにすべきことの整理ができた。各関係機関が実際に災害が発生した際の具体的な状況を想定しながら、必要な訓練が実施できるよう支援、働きかけをしていく必要がある。 ・保健医療調整南部地方本部運営訓練を実施し、DMATインストラクターからの助言も仰ぐことで、組織内の災害発生時対応能力を向上させることができた。また、DMATや市の参加により、連携を考えていくよいきっかけとなった。今後は、よりDMATや関係機関との連携強化や受援体制の構築を検討すること、また引き続き保健所全職員に対して災害時に必要となる行動や機器の操作に関する継続した小規模訓練の実施が重要である。 ・小児科医不足および医師の働きかた改革を背景とした体制維持のための意見交換を行い、課題解決のための方向性を議論し、具体策として上がった補助金メニューの組み換えや出前講座の調整等対応策について関係者と検討をすすめることができた。今後、安定した小児救急の運営に向けて長期目標の設定のために関係者とともに課題の洗い出しや解決策の検討を行うとともに、課題解決のための場の設置等に向けた取組の調整が必要である。	1人 自分らしい未来を描ける生き方 ①生涯を通じた「からだところ」の健康 政策(2)本人の暮らしを真ん中においた医療福祉の推進	健康危機管理 係 生活衛生係
2	世代、分野を超えた地域包括ケアシステムの構築	2025年さらには2040年を見据え、高齢者のみならず、生涯を通じた地域包括ケアシステムの構築に向け、圏域の医療保健福祉関係者が人的ネットワークを形成し、自助・互助・共助・公助を組み合わせながら協働して取り組みを進めることにより「一人ひとりが最期まで安心して心豊かに暮らせる地域」づくりを推進する。 (湖南圏域医療福祉ビジョンの実現)	①湖南圏域医療福祉ビジョン（「見える化」バージョン）の周知、活用をすすめる。 各分野の会議等機会を活用して 10回（実績19回） ②連携強化に向けた医療保険福祉関係者の協議の場の設定 14回（実績14回） ・2025年医療福祉推進協議会 2回（実績3回 7/26,11/15,2/21） ・認知症疾患医療連携協議会 1回（2/28） ・病院・在宅連携検討会議 2回（会議6/21 連携フェスタ 1/16） ・湖南圏域地域リハビリテーション推進会議 2回（部会7/6 推進会議1/12） ・難病対策地域協議会 1回（1/11） ・精神保健医療福祉に対応した地域包括ケアシステム推進協議会1回（2/29） コア会議 3回（チーム会議 7/13,10/27 意見交換会12/12） ・湖南圏域自殺対策推進部会 1回（1/15） ・周産期保健医療連絡調整会議 1回（1/31） ②地域が多職種連携研修等、質の高いケア提供のための人材育成 研修等 ・在宅医療1回（9/14）・認知症1回（9/14）・精神3回（10/3、2/20、2/26） ・難病2回（9/9、9/14） 各1回ずつ計5回	○	・これまで重点として進めてきた圏域の地域包括ケアシステムの推進は、新型コロナ健康危機を経て昨年度後半から中断・縮小せざるを得なかった連携強化に向けた会議等の場を再開し、今年度はさらに地域包括ケアの検討機会を充実することができた。 ・湖南圏域2025年医療福祉推進協議会は3回を通じてビジョンの「見える化」も活用し、意見交換ができた。また、関係機関・団体においても、各分野の推進にかかる会議等での現状説明や住民への啓発資料として活用や成果の確認に活用することにつながるよう周知の機会を多数設定できた。2025年を目前に、今後、圏域の急速な高齢化進展を踏まえ、2040を見据えた新たなビジョンへのシフト、目標・指標の見直し等にかかる検討が必要である。高齢者だけでなく、精神保健福祉、医療的ケア児、感染症や災害等の健康危機においても地域包括ケアが活かされるよう充実にむけ継続した協議が必要である。 ・精神は会議体系を再編し、現場レベルのネットワークの強化と圏域の課題検討を行った。 ・他職種連携や人材育成のための研修会についても、コロナの5類移行にともなって、分野ごとに必要な研修を開催することができた。	1人 自分らしい未来を描ける生き方 ①生涯を通じた「からだところ」の健康 政策(2)本人の暮らしを真ん中においた医療福祉の推進	総務係 医療福祉連携 係 地域保健福祉 係
3	生涯を通じた健康づくりの充実強化	健康寿命の延伸をめざし、湖南圏域の保健医療福祉関係者が連携して、食・運動・禁煙など、健康づくり、生活習慣病に対する予防の推進に向けた支援を強化する。 特に働き盛り世代をターゲットとした健康なまちづくりを目指し取り組みを進める。	①Postコロナ状況下での健康増進、地域・企業・保険者の連携強化、糖尿病重症化予防体制の整備に向けた協議の場の設定・実践 ・みんなでコロボヘルス推進会議 2回（実績 会議1回 2/2 情報交換会1回 12/15） ・各団体が持つ資源や情報の整理、講座等の情報の更新（R5年9月更新済） ・湖南圏域糖尿病対策推進会議 1回(3/4) ・歯科保健推進会議 1回(2/29) ②質の高いケア提供のための人材育成 研修等 2回 健康づくり（12/15）、糖尿病（未開催）、歯科（12/15） ③各市の次期健康増進計画策定に参画・目標を共有し、市とともに重層的に健康なまちづくりに取り組む。 ・計画策定にかかる情報提供および情報共有 2回（8/29,11/10） ・各市健康づくり協議会・部会への参画 （4市実施）	○	・新型コロナ5類移行にともない、健康づくり分野において、地域、企業、保険者の連携強化、糖尿病重症化予防体制の整備に向けた協議の場を持つことができた。 ・研修会の開催についても働き盛り世代をターゲットとした地域職域連携推進事業（みんなでこらヘルス推進事業）を活用し、地域・職域関係者へのヒアリング・調査等により現状把握、会議での検討、事業所健康づくり情報交換会の開催ができた。 健康づくり分野においても湖南圏域医療福祉ビジョン「見える化」バージョンの周知機会を設け、目指す姿を意識できるように働きかけた。 関心が低い層に向け、健康情報を届ける取り組みや協働した取組について協議することができた。 ・糖尿病予防・重症化予防のための多職種連携、支援体制整備に向けて、圏域の関係者による糖尿病対策推進会議を再開し、POSTコロナ状況下での糖尿病発症予防、重症化予防、糖尿病性腎症重症化予防にかかる連携について、現状や課題の共有と検討ができた。今後、関係機関とともに具体的な取り組みにつながるよう検討を進める必要がある。	1人 自分らしい未来を描ける生き方 ①障害を通じた「からだところ」の健康 政策(1)生涯を通じた健康づくり	医療福祉連携 係

※「達成状況」

◎ 目標を超えて達成（100%超）、○ 目標どおり達成（100%）、△ 目標の半ば以上の実績（50%以上）、× 目標の半ば以下の実績（50%未満）